



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社
 コード番号 6915 URL <https://www.chiyoda-i.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小池 光明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-6386-5556
 四半期報告書提出予定日 2023年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	29,429	0.5	2,332	7.6	3,084	5.9	2,046	△1.2
2022年12月期第3四半期	29,288	△4.1	2,168	1.2	2,911	22.1	2,071	22.1

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 4,623百万円 (△21.7%) 2022年12月期第3四半期 5,902百万円 (103.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	183.06	—
2022年12月期第3四半期	173.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2023年12月期第3四半期	51,183		39,908		78.0	
2022年12月期	47,839		37,809		79.0	

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 39,908百万円 2022年12月期 37,809百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	120.00	120.00
2023年12月期	—	0.00	—		
2023年12月期（予想）				110.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△0.9	2,930	△2.9	3,500	△7.4	2,500	△8.3	228.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	11,628,929株	2022年12月期	11,628,929株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	709,219株	2022年12月期	224,479株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	11,177,526株	2022年12月期3Q	11,968,752株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

1. 2023年2月13日に公表致しました連結業績予想のうち、通期について本資料において修正しております。詳細は、本日付の「2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、各国の金融引き締めやウクライナ情勢をはじめとした地政学リスク、サプライチェーン上の供給制約等、依然として先行きが不透明な状況が続きました。米国では、金融引き締めの状況が続いているものの、良好な雇用情勢と個人消費により、全体として景気は底堅く推移しました。中国では、生産・投資は回復が続く一方で、不動産部門の問題を抱え消費マインドの低迷により景気は不安定なまま推移しました。他のアジア地域では、経済の貿易依存度の高い国が多いなかで輸出の低迷が続いており、景気は減速基調となりました。

また、我が国経済は、日銀による金融緩和政策が続くなかで物価上昇や円安基調の継続による景気の下振れ懸念があったものの、個人の消費拡大やインバウンド需要の回復等により、景気は緩やかな回復基調となりました。

このような経営環境の中で、中期経営計画で掲げた「事業領域の転換」を推進するため、グループ一丸となり目標に向かって邁進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は29,429百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業利益は2,332百万円（前年同四半期比7.6%増）、経常利益は3,084百万円（前年同四半期比5.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,046百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、自動車向けが引き続き堅調に推移し、売上高は7,060百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益は269百万円（前年同四半期比209.0%増）となりました。

東南アジアは、AV機器向けが大きく落ち込みましたが、通信機器向けが回復し、売上高は10,037百万円（前年同四半期比7.4%減）、営業利益は819百万円（前年同四半期比29.4%減）となりました。

中国は、OA機器向けが減少しましたが、ゲーム機器向けが好調で、売上高は8,893百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益は1,310百万円（前年同四半期比33.3%増）となりました。

その他は、自動車向けが好調を維持したものの、AV機器向けは低調な状態が続き、売上高は3,439百万円（前年同四半期比12.8%増）、営業損失は47百万円（前年同四半期は9百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,344百万円増加し、51,183百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加793百万円、受取手形及び売掛金の増加1,360百万円及び投資有価証券の増加604百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,245百万円増加し、11,275百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加740百万円及び賞与引当金の増加293百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,098百万円増加し、39,908百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加2,265百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月13日に公表いたしました通期連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、2023年11月9日（本日）に公表いたしました「2023年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、前提とする為替レートを見直し、「1米ドル=125円」から「1米ドル=140円」に変更いたしました。

<通期連結業績予想数値>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想	百万円 42,000	百万円 2,900	百万円 3,100	百万円 2,300	円 銭 201.68
今回発表予想	39,000	2,930	3,500	2,500	228.94
(ご参考) 前期実績 (2022年12月期)	39,372	3,015	3,780	2,725	229.93

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,222	18,015
受取手形及び売掛金	10,114	11,474
商品及び製品	2,173	1,919
仕掛品	530	506
原材料及び貯蔵品	2,545	2,498
その他	519	541
貸倒引当金	△13	△2
流動資産合計	33,091	34,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,516	13,429
減価償却累計額	△7,893	△8,462
建物及び構築物(純額)	4,622	4,967
機械装置及び運搬具	10,295	11,032
減価償却累計額	△7,047	△7,680
機械装置及び運搬具(純額)	3,247	3,351
工具、器具及び備品	2,314	2,350
減価償却累計額	△1,957	△1,992
工具、器具及び備品(純額)	357	357
土地	2,551	2,580
使用権資産	809	918
減価償却累計額	△431	△583
使用権資産(純額)	377	335
建設仮勘定	77	310
有形固定資産合計	11,233	11,903
無形固定資産		
ソフトウェア	90	136
ソフトウェア仮勘定	41	124
その他	0	0
無形固定資産合計	132	260
投資その他の資産		
投資有価証券	2,203	2,808
繰延税金資産	246	271
その他	956	1,019
貸倒引当金	△25	△33
投資その他の資産合計	3,381	4,065
固定資産合計	14,748	16,230
資産合計	47,839	51,183

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,121	5,862
短期借入金	1,020	1,020
リース債務	189	166
1年内返済予定の長期借入金	1	11
未払法人税等	364	400
賞与引当金	417	711
その他	1,443	1,555
流動負債合計	8,557	9,727
固定負債		
長期借入金	98	88
リース債務	208	164
繰延税金負債	583	670
退職給付に係る負債	516	558
その他	65	65
固定負債合計	1,473	1,547
負債合計	10,030	11,275
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	29,615	30,293
自己株式	△475	△1,631
株主資本合計	33,922	33,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	625	935
為替換算調整勘定	3,256	5,521
退職給付に係る調整累計額	5	7
その他の包括利益累計額合計	3,887	6,464
純資産合計	37,809	39,908
負債純資産合計	47,839	51,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	29,288	29,429
売上原価	22,089	21,884
売上総利益	7,199	7,544
販売費及び一般管理費	5,030	5,212
営業利益	2,168	2,332
営業外収益		
受取利息	44	187
受取配当金	53	57
為替差益	548	367
その他	136	186
営業外収益合計	783	799
営業外費用		
支払利息	22	14
その他	18	32
営業外費用合計	40	47
経常利益	2,911	3,084
特別利益		
固定資産売却益	110	9
投資有価証券売却益	—	114
ゴルフ会員権売却益	2	—
特別利益合計	112	123
特別損失		
固定資産除売却損	19	80
特別退職金	—	82
特別損失合計	19	162
税金等調整前四半期純利益	3,003	3,045
法人税等	932	999
四半期純利益	2,071	2,046
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,071	2,046

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,071	2,046
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	182	309
為替換算調整勘定	3,671	2,265
退職給付に係る調整額	△24	2
その他の包括利益合計	3,830	2,577
四半期包括利益	5,902	4,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,902	4,623
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	6,780	10,837	8,622	26,239	3,048	29,288	—	29,288
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,066	361	784	4,211	30	4,241	△4,241	—
計	9,846	11,198	9,406	30,451	3,078	33,530	△4,241	29,288
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	87	1,160	983	2,230	△9	2,220	△52	2,168

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	7,060	10,037	8,893	25,990	3,439	29,429	—	29,429
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,240	109	943	4,293	49	4,342	△4,342	—
計	10,300	10,146	9,836	30,283	3,488	33,771	△4,342	29,429
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	269	819	1,310	2,398	△47	2,351	△19	2,332

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。